

安倍総理の改憲野望に
待ったをかける選挙!!!

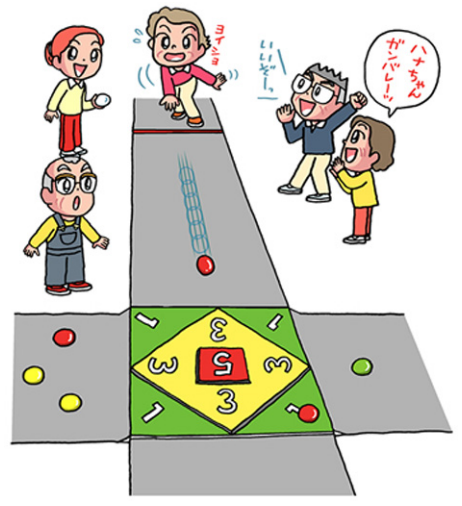
補正予算にマイナンバー関係予算があり反対 私立保育所保育士賃上げなど主な予算を紹介

一般会計補正予算はこれまでの予算額に9億7474万9千円が増額され、総額で483億1550万9千円となった。

増額等となった主な支出は(1万円未満は切り捨てて表記)

- ①地下鉄8号線整備検討調査委託費 486万円
- ②私立保育所と市保育所の指定管理者運営の保育士について一人月額2万円を補助(3420万円、うち県補助1020万円)
- ③地域密着型介護施設のスプリングラー設置費 1000万円補助
- ④複合(養護・小規模特養)施設楽寿園の施設整備費 2744万円

- ⑤道路応急工事費等 6225万円
- ⑥歩道整備や交通安全施設整備 683万円
- ⑦アライグマ処分委託費 61万円
- ⑧みどりのふるさと基金に1240万円積立(東新田区画整理組合からの寄付が原資)
- ⑨病院関係の災害対策無線設備設置費 1016万円
- ⑩自主防災組織資機材購入補助費 514万円
- ⑪清水台小特別支援教室設計委託料 435万円(2019年度開設)
- ⑫準要保護児童小学校入学準備費 393万円
- ⑬オーバルボール一式購入費 10



万円(図参照、卵型の楕円球を各チームが4個ずつ持ち、スタートラインから前方の得点ゾーンに入るように転がすゲームで、基本は4チームの対抗戦。7m四方のスペースがあれば設置可能。以上、世界あそび辞典から引用)

- ⑭財政調整基金積立 6億7千万円

表1 請願・陳情・発議(議員提案)採決一覧 今回は一つも実らず

	陳情・請願・発議	結果	新社	市民	共産	民連	無ク	みん	新風	公明	政清
請願第3号	住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	×	×	×
陳情第5号	平成29年7月28日午後2時より、野田市児童家庭部保育課保育係と相談、審査請求を依頼した件に関する陳情	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×
陳情第6号	住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×
陳情第8号	野田市コミュニティバス検討専門委員を廃止し野田市コミュニティバス運用審議会(仮称)を設置することを求める陳情	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×
陳情第9号	国民健康保険税の引き下げを求める陳情	不採択	○	○	○	×	×	×	×	×	×
発議第9号	米の生産費を補償する価格下支え制度を確立することを求める意見書	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×
発議第10号	社会保障費の「削減ありき」はやめるよう求める意見書	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×

略称：市民=市民ネットワーク、民連=民進連合、無ク=無所属クラブ、みん=みん清クラブ、新風=新しい風

総選挙
本日公示

7 区は野党統一ならず 新社会党は共産党の渡部氏を支持

本日衆議院議員総選挙が公示される。それではここ千葉 7 区の市民と野党の共闘・統一候補づくりはどうなったのか。

残念ながら不調に終わり、日本共産党のわたなべ隆夫氏（新、73 歳）と立憲民主党の石塚さだみち氏（新、50 歳）の二人が立候補する。

共産党は 13 区の現職が立候補する共産党必勝選挙区で民進党が調整をけたため、そのあおりを 7 区は受ける形になった。

石塚氏は民進党の事実上の解党

に直面し、当初、希望の党からの立候補を志向したようだが、最終的に希望の党が波多野里奈氏を公認したため、立憲民主党から出る

ことになったと思われる。

この二人が統一すれば自民現職の斉藤健農水相に勝てるチャンスがあったが、一本化できないうえ、希望の党からの立候補もあって、小選挙区での勝利はかなりハード

ルが高くなった。

希望の党新人の波多野氏は 44 歳で元アナウンサー。これまで民主党で衆参一度ずつ挑戦、13 年の参院選ではみんなの党から立候補した。

県レベルで共産党と初の政策協定

新社会党は市民と野党の統一候補づくりを推進してきたが、多くのところでならなかったため、改憲反対・戦争法廃止の政策を見極

め、党を支持することにした。

ただ、習志野などの 2 区では統一ができなかったが、これまでの経緯を踏まえて新社会党は立憲民主党候補を支援する。

社民党と政策協定 県レベルは不調

社民党とは本部間で政策協定を結んだが、県レベルでは不調に終わり、12 区の候補者は支援しないことにした。

なお、野党統一ができた 3 区（市原など）、5 区（市川など）、6 区（松戸南部など）では立憲民主党候補を、不調に終わったものの、9 区（佐倉など）は共産党候補を、それぞれ市民連合が推薦し、新社会党もともに闘う。

比例は改憲勢力反対で

南関東比例では新社会党は、安倍「独裁」を終わらせ、改憲をさせないために自民、公明とそれに連なる希望と維新勢力の議席を一つでも減らすため、選挙情勢に応じて、社民党、共産党、立憲民主党を支援することとした。

本紙 2 面「道しるべ」は本部書記長としておさなみ議員が書いています。ご参照を。

とめよう！
戦争・貧困・原発・辺野古新基地建設
野党共闘で改憲発議阻止！

めて、アベ暴走と専横政治を止め

るために力を注ぐことになり、この間信頼関係をつくってきた共産党県委員会と初めて政策協定を結び、複数立候補の選挙区では共産

最高裁裁判官国民審査では全員×を

また、総選挙と同時に行われる最高裁裁判官国民審査は、判事全員が安倍政権になって着任したこともあるが、過去の経歴や判決を見ると信任できない。

弁護士枠からの判事の一人は日

弁連推せん名簿になかった人物で、弁護士登録をしているとはいえ、当時は早稲田大学の教授で、政権側が恣意的に選んだ。したがって、最高裁裁判官国民審査では全員不信任の×を投じる。

新社・共産政策協定は市民連合の政策が基本

共産党千葉県委員会と新社会党千葉県本部は 9 日、立憲主義を共有し、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の 7 項目の基本政策をもとに、10 の国

政課題、2 つの県政課題（千葉市や成田市のカジノ建設と木更津基地のオスプレイに反対）について政策協定を結んだ。